

# お知らせ

## ◆遠藤文学講座のお知らせ

「遠藤周作の生涯と文学」『イエスの生涯』『キリストの誕生』を読む』

日時 7月10日、9月11日(土)

15時20分～16時50分

(日時は変更する場合がありますので、申込みの際にご確認ください)

場所

幼きイエス会  
(四谷駅麹町口前)

☎03-3261-0825

講師

山根道公

受講料

1回2000円(学生半額)

申込み

風編集部

内容

『イエスの生涯』の続編『キリストの誕生』を読み解き、

弱い弟子たちを変えていく永遠の同伴者キリストについて考えます。

## ◆軽井沢高原文庫のお知らせ

軽井沢高原文庫(館長・加賀乙彦)

では、7月19日(月)まで、「文学に描かれた軽井沢120年の物語」と題する企画展示が開催されています。また、開館25周年記念特別展として「文士と宿 万平ホテル・つるや旅館・星野温泉で過ごした日々」が7月24日(土)から10月11日(月)まで催され、期間中以下のイベントがあります。

◆**軽井沢高原文庫の会**

8月7日(土) 13時より

対談/俵万智・矢代朝子「軽井沢と歌人たち―軽井沢で詠んだ歌って?」対談後、野外で懇親パーティー。

## ◆**高原の文学サロン**

9月4日(土) 14時より

「おじいちゃん 二代目星野嘉助を語る」―星野佳路(星野リゾート代表。聞き手・矢代朝子)。

いずれも会員・会費制で予約が必要です。詳しくは軽井沢高原文庫にお問い合わせ下さい。

☎0267-451175

## ◆**ご意見をお寄せ下さい**

会報の内容について、また会の催しや運営方法について、ご遠慮なくご意見をお寄せ下さい。手紙か葉書、またはFAXにて、「周作クラブ」事務局まで。また会報への投稿も、どうぞふるってお願いします。

## ◆**「周作クラブ」会員募集**

「周作クラブ」に入会しませんか。年会費(9月～翌年8月)は3千円です。年4回、遠藤文学に関する様々な情報が載るこの会報が送られるほか、会が主催する勉強会やパーティー、遠藤文学の足跡を訪ねる旅行会などに参加できます。

遠藤文学ファンはもろろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。また会員の方も、どうぞご家族や友人、知人をお誘いください。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

## ◆**編集後記**

▼鬼の霍乱という人もあり、年齢を考えればあちこちガタがきて当然という向きもあって……。ともかく、4月下旬の11日間を、東京新宿の病院で過ごしました。手術は成功し、左腎を半分ほど切り取りましたが、左脇腹に大きな傷跡ができたことと、その周囲の痛みがなかなか取れないことを除けば、経過は順調です。

▼遠藤文学原点の旅に参加できなかったのは、今回が初めてです。久しぶりの文学館と、周作クラブ長崎の皆さんとの再会を楽しみにしていたのに、残念です。

▼入院と自宅療養という1カ月を経験して、ほんの少しですが、人生観が変わりました。心身の「痛み」を、想像するのと体験するのでは違います。遠藤周作の人と文学への理解が、ちょっとだけ深まったような気になっています。

▼さて、次号はいよいよ周作クラブ創立10周年記念号です。会員の皆さんの「思い出」の原稿を募集しておりますが、応募状況はいまいちです。一人でも多くの皆さんの意見を載せたいと思います。ぜひ原稿をお寄せ下さい。(颯)

## 「周作クラブ」第39号

2010年6月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■この号の編集者 岡田厚美、矢内一正、近藤恭弘、太原正裕、大原 雄

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-1097-1979

FAX03-3411-7939

●次回の会報発行は8月の予定です。

## 原稿募集

### 「周作クラブ」の思い出

「周作クラブ」10周年記念号(第40号、8月下旬発行予定)の原稿を募集します。内容は自由です。下記の要領に従って、ふるって応募ください。

会に入ったことによる新たな遠藤文学との出会い、また人との出会い、旅行や会合、周作忌などの思い出、会報と自分等、何でも結構です。

## 〈応募要領〉

▼手書き、パソコンいずれでも結構ですが、必ず下記「周作クラブ」まで郵送してください。

▼原稿の長さは400字～800字位を目安にお願いします。できるだけ「タイトル」をつけてください。

▼締め切りは6月30日、住所、氏名、電話番号をお忘れなく。

以上、できるだけ多くの皆さんからの応募をお待ちしております。